令和8年度 第4回福部地域振興未来会議 次第

日 時　令和8年10月28日(水)
午前9時～
場 所　福部町総合支所
２階 第２・３会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 報告事項
（1）第３回江川流域水害対策検討会の開催結果について（鳥取県土整備事務所　計画調査課） 別紙

（2）総合支所エリアにおけるサービスのあり方の見直しについて（市民生活部地域振興課） P.1～5

（3）地域おこし協力隊について

4 協議事項
（1）福部地域未来プラン実施計画の中間評価について P.6～9

5 閉 会

次回開催日程:　　月　　日(　)　　:　　～

福部地域振興未来会議委員名簿

任期 R7.4.1～R9.3.31

	氏　　名	所　属　等
福部地域振興会議委員	岩﨑　幸子	公募（福部アイデア館管理運営協議会長）
	上山　弘子	福部未来学園学校運営協議会長
	宇山　英俊	福部町区長会長
	加藤　美幸	公募（鳥取県漁協福部支部海女）
	岸本　正枝	鳥取市公平委員
	谷口　孝義	福部まちづくり協議会長
	中川　玄洋	公募（NPO 法人　bankup 代表理事）
	中島　幹夫	鳥取市交通安全指導員会福部地区会長
	西尾　祥幸	未来へつなぐらっきょう将来ビジョン研究会代表
	西田　一幸	福部地区民生児童委員協議会長
	濱田　香	鳥取市農業委員会長
	松田　浩稔	鳥取大砂丘観光協会理事 砂丘センター支配人
事務局	米澤　裕治	福部町総合支所長
	福山　あゆみ	副支所長（兼）地域振興課長 〈併〉教育委員会事務局福部町分室長
	瀬戸川　善一	産業建設課長
	水戸口　亜希子	市民福祉課長
	前岡　和憲	地域振興課課長補佐
	松尾　佳剛	地域振興課主事

地域振興未来会議説明資料
市民生活部地域振興課

総合支所エリアにおけるサービスのあり方を見直します

１．見直しが必要な背景

人口減少、DX（データとデジタル技術を活用して、組織文化や人々の生活をより良い方向へ変革すること）の進展、働き方の変化、物価上昇等に伴う各種費用の増嵩など社会潮流が目まぐるしく変化する中で、本市としても、その変化に対応すべく、本庁等が行っている検討に合わせて総合支所エリア（総合支所及び各地域工事事務所）についても、そのサービスの提供方法や提供までの過程を見直していくこととします。

この見直しに当たっては、**将来にわたる市民サービスの維持向上を目指しています**。

２．見直し検討の方針及び手法

『人口が減少してもみんなが幸せに暮らせる地域づくり』を目指して、**総合支所を８地域に存置させることを前提**に、DX を最大限活用しながら行政機能の最適化を図ることによって**生まれたリソース（人的資源、財産、予算など）の余剰を市民サービスの向上に割り当てる**ことができるよう、副市長を本部長、市民生活部長を副本部長とし、教育長、各部局長、鳥取市保健所長、総合支所長から構成する「総合支所エリアにおけるサービスのあり方検討本部」を令和８年７月９日に設置し、検討を始めました。

この検討本部の補助機関の構成及び役割、総合支所エリアにおけるサービスのあり方検討の今後のスケジュールについては、「資料１　総合支所エリアのサービスのあり方検討にかかるロードマップ」のとおりです。

【参考】 鳥取市が取り入れた業務の効率化に繋がる近年の主なDX事業

項目	開始時期	効果
文書管理・庶務事務システムの導入	平成23年4月～	文書登録・検索、出退勤管理、超過勤務の申請、休暇の届け出、旅費の精算などの手続きがデジタル化され業務が効率化
コンビニ等での各種証明書交付	平成29年6月～	交付申請に係る時間と場所の制約が解消され市民の利便性向上、手作業の交付件数が減り業務が効率化（R7実績：61,134件で全体の41%）
RPAによる定型業務の自動化、AI議事録・AI-OCRの導入	令和2年度～順次	手作業によるミスの減少、業務の効率化（R7実績：RPA・・55業務で▲1,703時間、AI議事録・・1,731会議分で▲1,453時間、AI-OCR・・約146万項目の読み込みで▲2,290時間）
各種行政手続きのオンライン化	令和3年7月～	時間と場所の制約が解消され市民の利便性向上、PCへの手入力などが減り業務が効率化（R7実績：55,151件）
インターネットを活用した相談体制の整備	令和3年10月～	場所の制約が解消され市民の利便性向上、アウトリーチの回数が減り業務が効率化（R7実績：人権福祉関係20件、外国人住民44件）
生成AIの本格運用	令和8年4月～	報告書の下書き、問い合わせ対応の文例、広報資料などの作成支援により業務が効率化
市県民税の申告支援システムの導入	令和10年度予定	課税資料データ作成の自動化・入力作業・確認作業の効率化、支所で受理した申告書の本庁への持ち込みの不要化で職員の負担軽減

【参考】 直近10年間の本庁等における主な組織機構改革

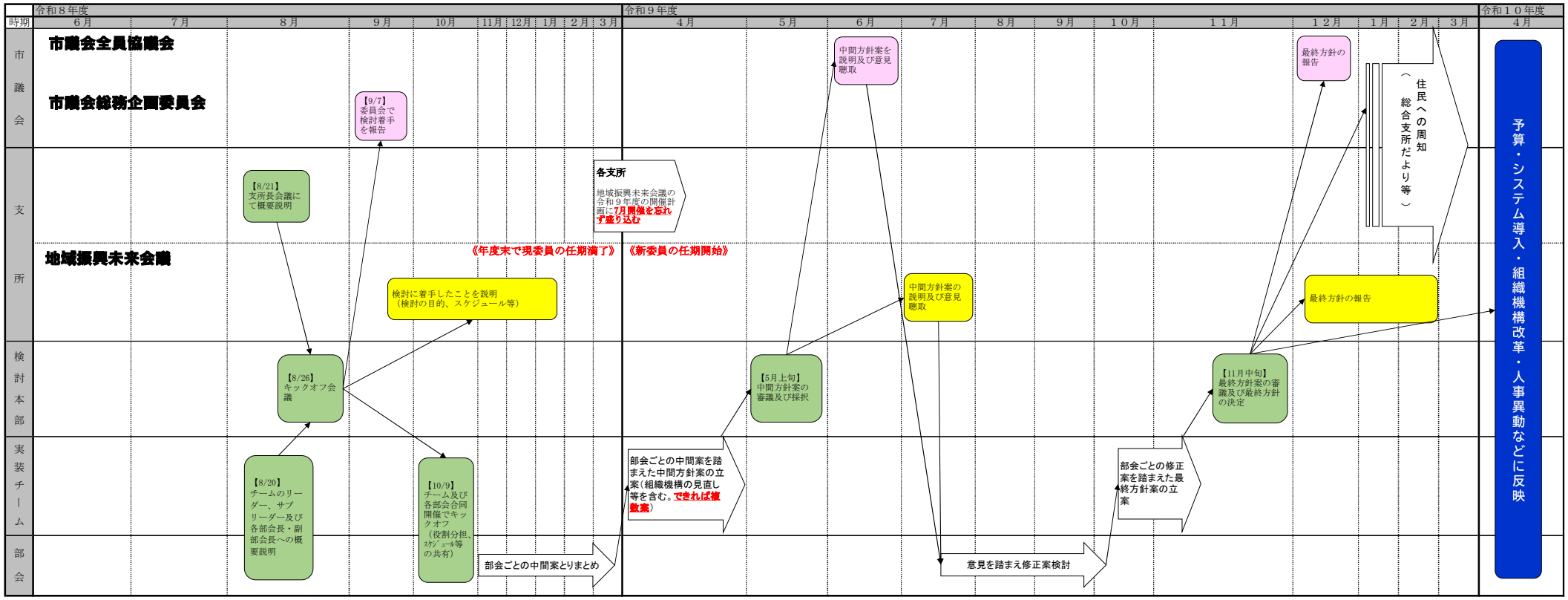
H29年	多様化する業務に適切に対応するため福祉保健部を「福祉部」と「健康こども部」の2部体制に再編、業務執行体制の効率化を目指し簡易水道事業を水道事業へ統合など
H30年	機能集約・連携強化を図るため高齢社会課と地域包括ケア推進課を「長寿社会課」に再編、鳥取東健康福祉センターの所管を健康こども部と福祉部の両方に位置付けなど
H31年	機能集約・連携強化を図るため観光戦略課と鳥取砂丘・ジオパーク推進課を「観光・ジオパーク推進課」に再編、企画推進部内の地域振興局が担う地域振興・市民活動支援・市民相談などを所管する「市民生活部」を新設、環境下水道部内の環境局を市民生活部に移管、情報政策課を企画推進部へ移管など
R2年	機能集約・連携強化を図るため徴収課と債権管理課を「収納推進課」に再編、課内室であった資産活用推進室を「資産活用推進課」へ格上、健康支援課健康長寿支援係の業務と保健センターの業務を一体化し「健康・子育て推進課」新設など
R3年	教育水準の向上と児童生徒の健全な育成を一体的に推進するため学校教育課の内部組織として「総合教育センター」を新設など
R4年	喫緊の課題に対応するため保健医療課内に「新型コロナワクチン接種対策室」を新設、事務事業の見直しに合わせ道路課内の係を再編など
R5年	多様化する業務に適切に対応するためこども家庭課を「こども未来課」と「幼児保育課」の2課体制に再編、環境局2課の業務見直しに合わせ生活環境課を3係体制に、廃棄物対策課を「環境保全課」に名称変更し3係体制に再編、戦略的に施策を推進するため経済・雇用戦略課内に「スマートエネルギータウン推進室」を新設など
R6年	機能集約・連携強化を図るためこども家庭局と健康・子育て推進課の業務を再編し「こども家庭センター」を新設、喫緊の課題に対応するため地域福祉課に「地域共生社会推進担当参事」を配置、中央人権福祉センターに「孤独・孤立対策推進担当参事」を配置など
R8年	戦略的に施策を推進するため農政企画課内に「販路開拓・企画室」を新設、業務執行体制の効率化を目指し下水道企画内の下水道管理室と下水道経営課を「下水道管理課」に再編、喫緊の課題に対応するため学校教育課祉課に「部活動地域移行・展開推進担当参事」を配置など

【参考】

市町村合併後、22年間における総合支所エリアの主な組織機構改革

H20	市民生活課と福祉保健課を「市民福祉課」に再編し3課1室体制へ
H21	鳥取南地域工事事務所、鳥取西地域工事事務所が新設
H23	地域振興課長が教育委員会分室長を併任
H29	地域振興課職員が教育委員会分室職員を併任

総合支所エリアのサービスのあり方検討にかかるロードマップ



○総合支所エリアにおけるサービスのあり方検討本部の構成（本部の配下に行政資源の活用権限を有する課長を中心として構成する「すごい！実装チーム」を置く）

○すごい！実装チームの役割と構成（チームの下部に主な所管事務事業を担当する課長で構成する３つの部会を置く）

＜すごい！実装チームの役割＞：それぞれの部会が提案した市民ｻｰﾋﾞｽの向上策や業務ﾌﾟﾛｾｽの見直し案等に横串を通しﾌﾟﾗｯｼｭｱｯﾌﾟした上で、それに必要な人員、予算等の配分やﾂｰﾙ（ＤＸ等）・組織機構を企画立案し、本部へ提案する組織

・構成員は、地域振興課長をリーダー、職員課長をサブリーダーとし、行財政改革課長、財産経営課長、資産活用推進課長、デジタル戦略課長、長寿社会課長、交通政策課長、各総合支所の副支所長

○３つの部会の役割と構成

＜地域振興部会＞：地域振興課及び分室が所管する事務事業を中心に、市民ｻｰﾋﾞｽの向上策、それを後押しするための業務ﾌﾟﾛｾｽの見直し等の改革案を検討し、実装チームへ提案する組織

・構成員は、地域振興課長を部会長、危機管理課長を副部会長とし、総務課長、財産経営課長、秘書課広報メディア室長、文化交流課長、協働推進課長、各総合支所の地域振興課長、教育総務課長

＜市民福祉部会＞：市民福祉課が所管する事務事業を中心に、市民ｻｰﾋﾞｽの向上策、それを後押しするための業務ﾌﾟﾛｾｽの見直し等の改革案を検討し、実装チームへ提案する組織

・構成員は、長寿社会課長を部会長、市民課長を副部会長とし、収納推進課長、男女共同参画課長、環境保全課長、保険年金課長、健康こども部統括保健師、幼児保育課長、こども家庭センター所長、健康づくり推進課長、各総合支所の市民福祉課長

＜産業建設部会＞：産業建設課及び工事事務所が所管する事務事業を中心に、市民ｻｰﾋﾞｽの向上策、それを後押しするための業務ﾌﾟﾛｾｽの見直し等の改革案を検討し、実装チームへ提案する組織

・構成員は、交通政策課長を部会長、農政企画課長を副部会長とし、経済・雇用戦略課長、観光・ジオパーク推進課長、林務水産課長、農村整備課長、都市企画課長、河川公園課長、道路課長、建築住宅課長、鳥取南地域工事事務所長、鳥取西地域工事事務所長、下水道管理課長、各総合支所の産業建設課長

令和8年度　福部地域未来プラン実施計画　進捗管理表（前期分）

R8.9.30時点

	目標	実施計画	4月			5月			6月			7月			8月			9月			前期分	
	【めざす将来像】	具体的な取組	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	進捗状況	実施状況
柱1　交流のための基盤づくり	(1)地域資源を活かした観光振興 ①山陰本線福部駅を拠点とした賑わい創出と鉄道利用促進	JR福部駅の整備内容について、昨年度までの検討結果を踏まえた具体案を作成する。							具体案の作成	→											対応中	検討結果を踏まえた具体案を作成し、JR福部駅前広場トイレの改修を行う方向で、令和9年度の予算要求を行う予定。
		【継続】福部駅の公衆トイレの清掃・周辺の草刈り等の環境整備を定期的に行う。（月4回）	→																	→	対応中	【トイレ清掃】 ◆委託先：福部となりの学校 ◆月4回実施済（R8.4月～9月…24回） 【トイレ周辺草刈り】 ◆委託先：㈱田中造園土木 ◆実施日：R8.7.27実施
	②地域資源の磨き上げ	昨年度の検討結果を踏まえ、坂谷神社や鵜岩など、福部町南部地域の周遊、観光を促進するため、本市担当課が作成中のらっちゃんバスを活用した周遊マップの作成に協力する。																			対応中	周遊マップの作成は、本市担当課と適宜協力して進めている。
		鳥取砂丘らっきょう花マラソン大会において、参加者の増加・内容の充実・持続可能な組織のあり方を実行委員会内で検討を行う。（年1回）	準備	→																	対応中	エントリー状況 863名 未来学園　201名 計1,074名
	(2)山陰近畿自動車道の新インターチェンジの設置 ①要望活動の推進	【継続】新たなインターチェンジ設置に向けた国・県要望を継続的に行い、進捗状況を管理する。（年1回）																			対応中	R8.8.4 インターチェンジ設置について、継続して国・県要望を行った。
	②渋滞解消の促進	【継続】旧コミュニティセンター解体後の跡地利用の検討策として、新たな駐車場の可能性を探る検討会を開催する。（年1回）																			目標達成	①R8.7.25　②R8.8.29 本市が「福部地域のくらしと公共施設を考えるワークショップ」を開催し、中学生～幅広い年代の参加者と旧コミュニティセンター解体後の跡地の活用策等について意見交換を行った。
柱2　にぎわいのあるまちづくり	(1)中山間地域の振興 ①経済活動の推進	砂丘周辺のイベント、鳥取砂丘らっきょう花マラソン大会において、地元の産物及びその加工品の販売を検討する。	検討会の開催（体制整備等）	→																	対応中	らっきょうマラソンのメイン会場で物販を予定
		令和9年度からの地域おこし協力隊の受け入れにあたり、地域の関係団体と協議を行う。								関係団体との協議	→										対応中	地域の関係団体と協議を行った。
	②地域特産品の充実	農業の省力化など、新たな技術について研究する会を開催する。（年1回）								研究会の開催	→										対応中	R8.7.14にらっきょう将来ビジョン研究会で検討し下半期も実施予定
		【継続】地域特産物の生産振興を図るため、福部らっきょう生産振興大会を開催する。（年1回）																	準備	→	対応中	福部らっきょう生産振興大会をR8.10.24に開催予定
		【継続】鳥取市内の小学校にらっきょうのプランターを配布し、らっきょうのPRを実施しながら、食農教育を推進する。（年1回）				会議の開催		→				栽培		→							対応中	R8.7.14に会員5名へプランターを各2鉢配布 R8.10.26若葉台小へ配布予定
	(2)地域教育の充実 ①多様な学びの場の創出	【継続】生産者を講師に迎え、らっきょうの植え付けの農業体験を行う。（年1回）											らっきょう植付体験	→						目標達成	R8.8.25 福部未来学園（6年生：22名）がらっきょう植付体験を行った。
	②郷土愛の醸成	【継続】旧福部中学校舎を活用し、木工教室等を開催する。（年1回）													木工教室の開催	→					対応中	◆月2回程度、福部未来学園の3年生から5年生を対象に10回実施 ◆毎回2～3人が参加 ◆公民館まつりで木工教室を開催予定
		【継続】◎創作活動を通じた世代間交流。 対象：福部未来学園3年生 講師：福部町内の方（年1回） 【継続】◎英会話教室（ABC教室）の開催 対象：福部未来学園1・2年生 講師：福部町内の方（年28回程度）								ABC教室の開催（月4回程度）	→							ABC教室の開催（月4回程度）	→	対応中	【世代間交流】 ◆令和9年2月実施予定 【ABC教室】 ◆7回実施（6月…2回、7月…1回、9月…4回） ◆27名　（1年生…10人、2年生…17人）

令和8年度　福部地域未来プラン実施計画　進捗管理表(前期分)

R8.9.30時点

	目標	実施計画	4月			5月			6月			7月			8月			9月			前期分	
	【めざす将来像】	具体的な取組	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	進捗状況	実施状況
柱3　誰もが住みよいまちづくり	(1)居住促進の取組 ①公共施設の活用	【継続】旧福部中学校舎、旧福部幼稚園舎等の公共施設の活用方法について検討会を開催する。(年1回)																			目標達成	①R8.7.25　②R8.8.29 本市が「福部地域のくらしと公共施設を考えるワークショップ」を開催し、中学生～幅広い年代の参加者と旧コミュニティセンター解体後の跡地の活用策等について意見交換を行った。
	②公共交通機関の確保とアクセス向上	JRとらっちゃんバスのアクセス向上・利用促進を図るため、らっちゃんバスの時刻表の見直しについて、関係機関と協議を行う。																			目標達成	らっちゃんバスの時刻表の見直しについて、関係機関と協議を行った。
	③空き家対策、移住定住施策の推進	【継続】関係団体と空き家の情報共有を図り、お試し住宅候補地の選定を進める。(年1回)													団体との情報共有						対応中	お試し住宅候補地の選定を含め、空き家の活用を検討中。「地域おこし協力隊の住まい」としての活用を想定し、所有者等と協議を行っている。
	(2)地域共生社会の実現に向けた取組 ①生涯学習・生涯スポーツの推進	「日本一のすなば」魅力まるごとイベント事業」の補助金を活用し、オアシス広場でのグラウンド・ゴルフの利用者を増やし、鳥取砂丘東側エリアの活性化を図る。																事業実施予定			対応中	R8.11.11～12実施に向け関係機関で協議し進めている。
		ステージイベントの開催に向けて内容の検討を行い、「公民館まつり」の集客増加を図る。				打合せ会の開催															対応中	◆検討会を2回開催 ◆ステージイベントに12団体が参加予定 ◆防災フェア同日開催 【第1回】R8.6.5　開催 【第2回】R8.10.14　開催予定
	②地域食堂の充実	現存の食堂については運営状況を見守りながら、要請等があれば支所としての支援を検討していく。新規参入に興味がある方があれば、関係機関と連携して情報提供など積極的にサポートしていく。																			対応中	毎月1回開催しており、要請等も特にはない。引き続き状況を注視していく。
柱4　災害等に強いまちづくり	(1)治水対策の強化等 ①塩見川河川改修事業等の推進	【継続】塩見川水系河川整備計画にのっとり、鳥取県が実施している「塩見川河川改修工事」について、区長会等で進捗報告を行う。(年各3回)。					駅前河川検討委員会			区長会説明											対応中	福部町区長会、福部地域振興未来会議、駅前河川検討委員会へ進捗状況を説明
		江川流域水害対策計画検討会を開催し、江川流域水害対策計画(原案)を策定し、江川の特定都市河川の先行に向けて協議を行う(年3回)				検討会の開催									検討会の開催						対応中	R8.7.1、R8.8.25に検討会の開催 通信だよりにより、検討会内容を住民にお知らせ
		【継続】水田の保水機能維持のため、福部町南部の水田における農業生産活動を支援する。(年間を通して)	農業生産活動の支援																		対応中	日本型直接支払事業(多面的機能支払・中山間地域等直接支払)よる農地の維持管理について支援する。
	(2)防災・防犯対策の充実 ①防災施設の整備と防災活動の強化	【継続】地域住民の安全確保を図る避難所を充実させるため、関係団体と開設手順や施設利用の手順の確認を行うと共に、避難所設営の迅速化について検討する。(年1回)							手順確認・検討												目標達成	施設管理者と避難所設営手順について確認書を締結。マニュアルも一部見直しを行った。また一部避難所設営にかかる物品を開設施設に事前に置くことで、開設時の輸送負担を軽減し、時間短縮を図っている。
	②通学路の防犯対策の充実	【継続】通学路の安全性向上のため、防犯灯の維持管理を行う。	防犯灯維持管理																		目標達成	防犯灯修繕(5件):実施済み
		昨年度の検討結果を踏まえ、JR福部駅前広場の整備に伴う防犯カメラ設置の具体案を作成する。							具体案の作成												対応中	JR福部駅駅前広場改修事業について、関係課と協議を進めている。
	③自主防災活動の充実	【継続】①地域住民を対象に、防災学習や防災訓練を実施する。 ②各地区へ区長会を通じて、防災リーダーの配置を呼びかける。	各区長へ周知 (防災リーダー)																		対応中	① 【防災学習】R8.10.15 ◆区長会長を対象に、防災DVDを視聴予定 【防災訓練】 R8.11.15 ◆防災フェア内で、水消火器を使用した消火訓練を実施予定 ②防災リーダーの配置を呼びかけ、鳥取市防災リーダー養成研修に3名が受講
		【継続】防災フェアなど、イベント開催時に自治会相談コーナーを設置し、自治会の加入促進を図る。(年1回)																			対応中	防災フェア(R8.11.15)で、町内会加入ちらしを配布予定
地域振興未来会議(開催案)年6回程度					○						○						○					

令和8年度　福部地域未来プラン実施計画　進捗管理表(後期分)

福部町総合支所

	目標	実施計画	10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	【めざす将来像】	具体的な取組	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
柱1　交流のための基盤づくり	(1)地域資源を活かした観光振興 ①山陰本線福部駅を拠点とした賑わい創出と鉄道利用促進	JR福部駅の整備内容について、昨年度までの検討結果を踏まえた具体案を作成する。																		
		【継続】福部駅の公衆トイレの清掃・周辺の草刈り等の環境整備を定期的に行う。(月4回)	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	②地域資源の磨き上げ	昨年度の検討結果を踏まえ、坂谷神社や鵜岩など、福部町南部地域の周遊、観光を促進するため、本市担当課が作成中のらっちゃんパスを活用した周遊マップの作成に協力する。	周遊マップの作成協力 →																	
		鳥取砂丘らっきょう花マラソン大会において、参加者の増加・内容の充実・持続可能な組織のあり方を実行委員会内で検討を行う。(年1回)	← 準備		実施 →	次年度に向けた検討 →														
	(2)山陰近畿自動車道の新インターチェンジの設置 ①要望活動の推進	【継続】新たなインターチェンジ設置に向けた国・県要望を継続的に行い、進捗状況を管理する。(年1回)							地域振興未来会議で報告 →											
	②渋滞解消の促進	【継続】旧コミュニティセンター解体後の跡地利用の検討策として、新たな駐車場の可能性を探る検討会を開催する。(年1回)	検討会の開催 →																	
柱2　にぎわいのあるまちづくり	(1)中山間地域の振興 ①経済活動の推進	砂丘周辺のイベント、鳥取砂丘らっきょう花マラソン大会において、地元の産物及びその加工品の販売を検討する。	← 検討会の開催		実施 →	← 検討会(反省・改善) →														
		令和9年度からの地域おこし協力隊の受け入れにあたり、地域の関係団体と協議を行う。																		
	②地域特産品の充実	農業の省力化など、新たな技術について研究する会を開催する。(年1回)																		
		【継続】地域特産物の生産振興を図るため、福部らっきょう生産振興大会を開催する。(年1回)	← 準備		大会 →															
		【継続】鳥取市内の小学校にらっきょうのプランターを配布し、らっきょうのPRを実施しながら、食農教育を推進する。(年1回)	← 栽培		配布 →															
	(2)地域教育の充実 ①多様な学びの場の創出	【継続】生産者を講師に迎え、らっきょうの植え付けの農業体験を行う。(年1回)																		
	②郷土愛の醸成	【継続】旧福部中学校舎を活用し、木工教室等を開催する。(年1回)																		
		【継続】◎創作活動を通じた世代間交流。(対象:福部未来学園3年生 講師:福部町内の方(年1回))													世代間交流開催 →					
		【継続】◎英会話教室(ABC教室)の開催(対象:福部未来学園1・2年生 講師:福部町内の方(年28回程度))	ABC教室の開催(月4回程度) →																	

令和8年度　福部地域未来プラン実施計画　進捗管理表(後期分)

福部町総合支所

	目標	実施計画	10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	【めざす将来像】	具体的な取組	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
柱3　誰もが住みよいまちづくり	(1)居住促進の取組 ①公共施設の活用	【継続】旧福部中学校舎、旧福部幼稚園舎等の公共施設の活用方法について検討会を開催する。(年1回)	検討会の開催																	
	②公共交通機関の確保とアクセス向上	JRとらっちゃんバスのアクセス向上・利用促進を図るため、らっちゃんバスの時刻表の見直しについて、関係機関と協議を行う。													関係機関と協議					
	③空き家対策、移住定住施策の推進	【継続】関係団体と空き家の情報共有を図り、お試し住宅候補地の選定を進める。(年1回)																		
	(2)地域共生社会の実現に向けた取組 ①生涯学習・生涯スポーツの推進	「日本一のすなば」魅力まるごとイベント事業」の補助金を活用し、オアシス広場でのグラウンド・ゴルフの利用者を増やし、鳥取砂丘東側エリアの活性化を図る。																		
		ステージイベントの開催に向けて内容の検討を行い、「公民館まつり」の集客増加を図る。	打合せ会の開催			公民館まつり			意見交換会の開催											
	②地域食堂の充実	現存の食堂については運営状況を見守りながら、要請等があれば支所としての支援を検討していく。新規参入に興味がある方があれば、関係機関と連携して情報提供など積極的にサポートしていく。													関係機関と現状及び今後の課題等について情報交換					
柱4　災害等に強いまちづくり		【継続】塩見川水系河川整備計画にのっとり、鳥取県が実施している「塩見川河川改修工事」について、区長会等で進捗報告を行う。(年各3回)。		区長会説明		防災フェアでの展示 駅前河川検討委員会									区長会説明				駅前河川検討委員会	
	(1)治水対策の強化等 ①塩見川河川改修事業等の推進	江川流域水害対策計画検討会を開催し、江川流域水害対策計画(原案)を策定し、江川の特定都市河川の先行に向けて協議を行う(年3回)	検討会の開催																	
		【継続】水田の保水機能維持のため、福部町南部の水田における農業生産活動を支援する。(年間を通して)	農業生産活動の支援																	
	(2)防災・防犯対策の充実 ①防災施設の整備と防災活動の強化	【継続】地域住民の安全確保を図る避難所を充実させるため、関係団体と開設手順や施設利用の手順の確認を行うと共に、避難所設営の迅速化について検討する。(年1回)																		
	②通学路の防犯対策の充実	【継続】通学路の安全性向上のため、防犯灯の維持管理を行う。	防犯灯維持管理																	
		昨年度の検討結果を踏まえ、JR福部駅前広場の整備に伴う防犯カメラ設置の具体案を作成する。																		
	③自主防災活動の充実	【継続】①地域住民を対象に、防災学習や防災訓練を実施する。 ②各地区へ区長会を通じて、防災リーダーの配置を呼びかける。	防災学習			防災訓練														
		【継続】防災フェアなど、イベント開催時に自治会相談コーナーを設置し、自治会の加入促進を図る。(年1回)				自治会相談コーナーの設置														
地域振興未来会議(開催案)年6回程度					○						○									○
					中間評価															期末評価